

(かしへいそくせいどうみやくこうかしよう)

下肢閉塞性動脈硬化症について

足が冷えやすいとか、しびれる、歩くと足が痛くなり立ち止まるといった症状はいろいろな原因で出現しますが、その中で、重要な原因として下肢閉塞性動脈硬化症があります。

足に行く動脈が動脈硬化により狭くなったり、詰まったりして下肢の血液のながれが悪くなる病気です。



痛い!!

年だからとあきらめていませんか？

足がしびれる。最近、歩きづらいつつといった症状は年をとったから仕方ない。治らない。とあきらめていませんか？そんなことはありません。この病気は治療により、また歩けるようになります。

ほっておくとどうなるの？

歩かないと下肢の筋肉が弱り、血管も細くなります。自宅にこもりがちになり、痲痺うも進行することがあります。歩けないことは悪循環の始まりです。治療が遅れると足が腐ってしまう切斷しないといけないこともあります。

早期発見するためには？

●四肢血圧測定検査 (ABI検査)

手と足の血圧を同時に測定します。いつも診察室で測っている血圧を足でも測ります。足への血流が悪いと足の血圧が手の血圧より低くなります。検査時間は約五分です。もちろん、検査に痛みはありません。



ABI検査

検査方法は？

四肢の血圧測定で異常があれば、次に病気のある血管の場所を探さなくてはなりません。その方法として、血管エコー、造影CT、MRA、血管造影検査があります。

治療方法は？

●薬物療法

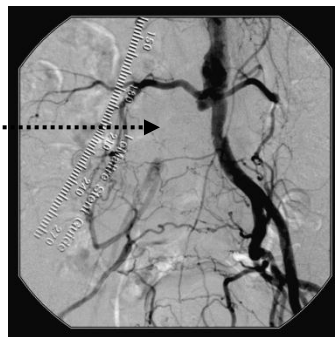
●経皮的血管形成術
詰まった血管を風船で拡張します。

●バイパス手術

人工血管や静脈を使って血液の流れの悪いところをバイパスします。



治療後



治療前

右足に行く動脈が詰まっています

岡山赤十字病院 心臓血管外科

中西 浩之

TEL (086) 222-8811

ご心配な方は、心臓血管外科外来を受診してください。電話でのご相談でも結構です。

